

7月広報カレンダー

・クールアースデー 2012 in SANO

1日 [午後3時～:佐野駅前交流プラザ「ばるぼーと」周辺]
→広報さの6月1日号 P. 9

2月 ・ホテルの観察会 ※雨天中止
[午後6時30分～:田沼庁舎]
→広報さの6月1日号 P. 12

14土 ・まちなかお笑い月間
[佐野未来館2階市民ギャラリー]

21土 ・まちなかお笑い月間
[午前9時～:佐野駅前交流プラザ「ばるぼーと」]

28土 ・まちなかお笑い月間
[佐野未来館2階市民ギャラリー]

29日 ・栃木県立博物館地域移動博物館記念講演会
[午後2時～:郷土博物館]

栃木県立博物館地域移動博物館記念講演会 「昆虫の多様な世界」

- ▶日時 7月29日(日)午後2時～3時30分
- ▶場所 郷土博物館企画展示室、講座室
- ▶講師 栗原隆さん(栃木県立博物館自然課研究員)
- ▶定員 先着30人
- ▶参加費 無料
- 申込 当日までに電話で、郷土博物館
☎(22)5111へ

地域福祉計画策定委員の募集

誰もが住み慣れた地域において、安心していきいきと暮らすことのできる福祉社会の実現を図るため、市民の皆さんの意見を反映させた「佐野市地域福祉計画」を策定するにあたり委員を募集します。

- ▶**応募資格** 平成24年6月1日現在において、市内にお住まいの満20歳以上の方。年に数回程度の会議に出席可能な方(会議は原則として平日の昼間を予定しています)で、地域福祉に関心のある方。
- ▶**活動期間** 委嘱の日～平成26年3月(予定)
- ▶**募集人数** 2人 ※応募者多数の場合は選考とします
- ▶**応募方法** 「これからの地域福祉」と題した作文(800字程度)に、住所、氏名、生年月日、連絡先、職業(勤務先)学生の場合は学校名などを明記してください。(郵便、ファックス、Eメールで受け付けます)
- ▶**応募先** 社会福祉課
〒327-8501 佐野市浅沼町798
FAX(24)2708
☒syakaifukushi@city.sano.lg.jp
- ▶**応募期限** 7月13日(金)必着
- 問合せ** 社会福祉課 ☎(20)3020

学校公開のお知らせ

- ▶**日時** 7月11日(水)～13日(金)午前10時～午後1時
- ▶**会場** 県立足利中央特別支援学校(足利市大町871-3)
- ▶**内容** 授業参観・参加
給食試食会 1日限定10食(1食310円)
- 申込** 授業参観・給食試食を希望される方は、電話・FAXで
同校☎0284(41)1185
FAX0284(42)7553 五味田へ
※上履きや下足袋はご用意ください

第3回 「シリーズ 田中正造」

「没後100年を迎えて」
没後100年を機に、顕彰事業実行委員会において正造翁のイメージキャラクターを作成しました。名前は「しょうぞう(SHOZO)くん」です。今後、顕彰事業をPRするため、いろいろなところに登場します。



よろしくお願ひします！
■江刺県時代
正造(30才)の江刺県(現・秋田県と岩手県の一部)での生活は、「御用雑記公私日誌」に克明に記録されています。正造の名前は、はじめ、「正造」や「正蔵」と記していたことが正造の「公私日記」だけでなく、江刺県正造関係資料等によって裏付けできます。江刺県での活動は、東北地方冷害による救助窮民調べのための仕事でした。江刺県には、岩手県遠野町(現・遠野市)に本庁、鹿角郡花輪町(現・秋田県鹿角市花輪)に分局がありました。正造は本庁到着後、分局勤務を命ぜられ、東北農民の惨状の実態をつぶさに体験し、同じ農民の有様に涙を流し「此民

のあわれを見れば東路の我古郷のおもひ出二ける」と和歌に託しています。また、故郷小中村の両親宛の手紙は彼の心情を切々と伝えていきます。

その江刺県で一大事件にまきこまれました。上司・木村新八郎殺害事件で、明治4年(1871年)2月、正造がリウマチス治療の湯治の直後のことでした。知らせを受け、直ちにつけ、その対策を積極的に実行しましたが、犯人不明。意外にも、正造自身犯人容疑で投獄、2年9カ月(3年と20日・正造誌)の獄中生活を送ります。この在獄中、監獄則の制定によっての「西国立志編」の朗読反復練習は、まさに「1年有半」、正造のどもり矯正と後年の弁論演説ばかりでなく、思想形成にも大きく影響を与えました。さらに、「英国議事院談」の読書も正造後半の自由民権思想の刺激となり、政治志向への大きな源流となったと思われる。花輪分局の地にも正造の伝承や資料が生々しく残されています。



御用雑記公私日誌

(佐野市郷土博物館「田中正造」パンフレットより)

■問合せ 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室 ☎(22)8832

